

令和3年6月18日

令和2年度学校関係者評価委員会報告

学校法人 神奈川歯科大学
東京歯科衛生専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和2年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価

学外委員

- ① 佐藤 泰正 (文京学院大学女子高等学校 副校長)
- ② 富田 基子 (東京都歯科衛生士会 顧問)
- ③ 功刀 初穂 (しらゆり歯科医院 院長)
- ④ 櫻井 純二 (田中歯科器械店)
- ⑤ 三宅 みちる (32回卒業生)
- ⑥ 米村 美奈子 (保護者)

学内委員

- ① 佐々木 ひろみ (学校長)
- ② 李 昌一 (副校長)
- ③ 前田 美佳 (事務長)
- ④ 儀我 有子 (教務主任)
- ⑤ 齊藤 和臣 (広報部長)

2 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

会議議事録

会議名	学校関係者委員会（第2回）
開催日時	2021年6月に開催を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催といたしました。
場所	
委員 (敬称略)	佐藤 泰正（文京学院大学女子高等学校副校長） 富田 基子（東京都歯科衛生士会顧問） 功刀 初穂（しらゆり歯科医院院長） 櫻井 純二（株式会社 田中歯科器械店部長） 三宅 みちる（32回卒業生） 米村 美奈子（保護者） 佐々木 ひろみ（学校長） 李 昌一（副校長） 前田 美佳（事務長） 儀我 有子（教務主任） 齊藤 和臣（広報部長） 比田井 智哉（事務/書記）
配布資料	2020年度 学校自己評価報告書
結果報告等	集約した意見は「令和2年度 東京歯科衛生専門学校 学校評価書」にまとめた通り。

以上

令和2年度 東京歯科衛生専門学校 学校評価書

※ 自己評価の10項目と基準点数

1)教育理念・目標、2)学校運営、3)教育活動、4)学修成果、5)学生支援、
6)教育環境、7)学生の受け入れ募集、8)財務、9)法令等の遵守、10)社会貢献・地域

＜適切・・・4点、 ほぼ適切・・・3点、 やや不適切・・・2点、 不適切・・・1点＞

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員の指導及び助言
		評価 得点	成果と課題(「学校自己評価報告書」の略記)	
(1) 教育 理念 ・ 目標	① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	<p>【成果と課題】 ・学校の理念・目的・育成人材像については、各学年の教授要項の1ページに掲載し、常に目の触れるところにと意識して実施している。 ・今年コロナの影響にて、入学時・進級時のオリエンテーションが縮小され教育理念について十分に周知できなかったが、歯科衛生士概論の授業の中で折に触れ伝えるように務めた。 ・コロナ禍の中で実施できなかった1年次の臨床実習見学の代替として、逆に現場の歯科衛生士、歯科医師の先生方から講話をもらう機会を設定した。これは具体的な将来像をイメージする良い機会になったと考える。学生からのまとめの意見も好評であった。 ・KDUの未来化構想における本校の存在意義がより明確化され周知されること。</p> <p>【今後の改善方策】 ・KDUが東京サテライトクリニックを創立し、そこをTDHの学生の実習場所として専門性の高い先端技術を学ぶ環境をつくる。これは学生のためになり、学校にとっても他校との差別化をアピールできる。 ・教育理念・目標は学校の基盤となるので、専任教員の科目にて折に触れ何度も繰り返し伝える努力をする。 ・学生の周知度確認のためのアンケートの実施。</p>	<p>・学校自己評価を見る限り、当初の目標が達成されていると判断出来るが、定性評価に偏ることなく定量評価を組み込むべきと考えます。何より国家試験の結果からの判断を組み込むべきと思います。</p> <p>・教育理念の周知はしっかり行われていると思います。卒業生がその理念に則り、歯科衛生士として自立し、積極的に診療改善に携わっている姿を見ております。学校の理念をもっと学生時代に伝えることが今後の活躍を大きく左右することに繋がると思いますので、今後も教育現場で理念を伝えて行けると良いと思います。</p> <p>・コロナ禍での1年次臨床実習見学の代替で現場の歯科医師、歯科衛生士の講話を設定したことは、素晴らしいと思います。</p> <p>・卒業生をもっと参加させるとイメージもわき良くなると思うが、時期や内容をしっかりと考えないと繋がらなくなると思います。</p>
	② 学校の理念・目的・育成人材像をもとに特色ある職業教育が行われているか	4		
	③ 社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4		
	④ 学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生に周知されているか	3		

(2) 学校運営	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	【成果と課題】 ・懸案であった人事、給与に関する規定類の設定された。	・まず定員充足率を挙げられ、そこに各種取り組みによる職員の方々、学生の皆様の負担の軽減を図られているのは素晴らしいと思います。 ・運営方針に沿って事業計画が遂行されているとのことで素晴らしいと思います。教員への待遇をさらに強化していかれると良いと思います。現在のコロナ禍で従来の教育が出来ないことや新しいオンライン授業などの課題があり大変だと思います。新しい時代の流れに乗っていけるように情報整備に尽くしていけるといいと思います。 ・捺印制度が廃止されたことは良いと思う。電子掲示板などはアプリなどで対象学生に連絡できるようになれば良いと思う。 ・コロナ禍で先生方の負担はかなりあったかと思われますので、仕事にあった対価をいただくことで、モチベーションに繋がるかと思います。
	② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	・各種書類において可能である個所の捺印を廃止した。職員、学生ともに負担軽減に繋がった。 ・業務量が多く、残業が減らないこと。	
	③ 人事・給与に関する規定等は設備されているか	3	【今後の改善方策】 ・2021年度業務改革プロジェクトが立ち上げられたので、今後の業務効率化が期待できる。 ・アナログ部分の改善・紙の消費量を減らす電子化にどう取り組めるかの検討。	
	④ 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、又、有効に機能しているか	3	・業務効率化を図るために、国家試験問題を手入力ではなくVSCソフト利用等の検討。	
	⑤ 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4		
	⑥ 教務・事務等の組織整備など意思決定システム(会議等)が制度化されているか	3		
	⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切にされているか	3		
	⑧ 業務効率化を図るシステム化がなされているか	3		

(3) 教育活動	①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	<p>【成果と課題】 ・突然のコロナ禍で急遽オンライン授業の導入を余儀なくされたが、早期にLMSを立ち上げ、各教室からの配信設備の工事、資料作成と送付、実習科目の配信等、様々な課題を克服して何とか年間のカリキュラムをこなすことができた。</p> <p>・KDUの連携により、専門の講師陣による講義・実習を取り入れることができた。(歯内療法の実習、インプラント、矯正等の実践的な授業、専門的口腔ケア実習等)これは、本校教員への資質向上にも繋がることと考える。</p> <p>・審美歯科、訪問歯科、インプラント治療等、ニーズの高まりにも対応できるよう新しい分野の知識・経験値の高い人材の採用、実習先の確保。</p> <p>・進級や卒業判定の基準はある程度明確になっているが、判定基準の更なる見直しが求められる。</p> <p>【今後の改善方策】 ・2021年度カリキュラム・教育手法改善プロジェクトのたちあげによる改革。</p> <p>・実力試験のあり方、方法、時期等を検討し学生の意識を高める指導の必要性を考える。また、卒業試験の導入の検討。</p> <p>・教職員自身の資質向上の為のFD、教育理念の更なる共有が必要。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響は避けられないものなので、その中で昨年度からこれまでの成果と課題を見据えられていると思います。特に教育活動上大きな位置を占める実習に新たな取り組みを行われたのは評価大だと思えます。</p> <p>・KDUとの連携で専門の講師陣による講義実習を取り入れることが出来たという項目が教育水準をあげていると思います。専門分野の講師による講義実習を今後も強化していけると良いと思います。職員の能力開発の研修会も一緒にされるとなおいと思います。</p> <p>・インプラントに関しては臨床実習先により有無があるので、インプラントの見学実習を確保して欲しいと思う。</p>
	②	教育理念を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4		
	③	カリキュラムは体系的に編成されているか	4		
	④	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4		
	⑤	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4		
	⑥	人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	3		
	⑦	関連分野における業界等の連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3		
	⑧	関連分野における最先端知識・技術等を習得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが行われているか	3		
	⑨	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3		

(4) 学 修 成 果	①	就職率の向上が図られているか	3	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KDU講師陣による寺子屋での国試対策、特別授業が実施され国試合格に貢献した。 ・3年次の歯科衛生士概論の中で、「卒後のキャリアアップ」として3名の卒業生に講話をしてもらっている。他、コロナ禍の影響もあってだが、昨年より多くの卒業生(各分野で活動している)に講話を依頼し活用できた。 ・資格取得率の向上 ・卒業後の動向は一部の人に偏っている傾向があり、同窓会との連携が必要である。今年はコロナ禍の中で連携が稀薄になってしまった。連携について模索が必要である。 ・就職先を含め、卒業生の動向がわかりづらい。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムを改編し進級率を上げ、3年生が早期から国試対策に取り組めるようにし、退学率を軽減し入学者の資格取得率を上げる。 ・国試の難易度が上がっている中、傾向と対策を強化し1年次からの対策を強める。 ・同窓会との連携を何ができるか(必要か)を分掌担当者と管理職で審議していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後求められるEMの取り組みを充実させるためにも卒業生の動向を把握することは、喫緊の課題と考えます。昨今の就職就業意識の変化への対応も求められます。 ・卒業後のキャリアアップ講話を卒業生にしてもらう試みはとても良いと思います。卒後に認定歯科衛生士の資格などにチャレンジするような向学の精神を卒業生が持っているのは学生時代の学校の教育精神によるものだと思います。このまま学生への歯科への興味を刺激し続けるような教えができる方針を続けてください。 ・国家試験の合格率を上げるのは大変だとは思いますが、KDUの講師陣がいらっしゃるので、最新の情報が得られやすいのではないかと期待しております。
	②	資格取得率の向上が図られているか	3		
	③	退学率の低減が図られているか	3		
	④	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3		
	⑤	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	3		

(5) 学生支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人による就職ガイダンスを取り入れることができた。マッチングの場として今後期待したい。また、大型の就職ポスターの掲示を行い、学生に周知しやすくなった。 ・修学支援制度の対象校となって初年度、全学年で21名の学生が給付を受けることができ経済的な支援体制が整っている。 ・全学年で22名の学生がハローワークの教育訓練給付金を利用して学んでいる。 ・法人の健康管理室との連携により、コロナ感染予防対策を強化し、アドバイスを取り入れることができた。 ・保護者への各学期ごとの成績表の送付、必要に応じての電話連絡等担任との連携を取れるようにしている。また3年生の保護者には、国試の取り組みに必要な情報を提供しサポートのお願いをした。 ・卒業生には、再就職支援、図書の貸し出し等の支援を実施している。 ・既卒生の国試合格に向け、寺子屋を利用し全力でサポートでき結果に結びついた。 ・オンライン授業が多く対面で学生の話聞く時間をつくる機会が少なかった。 ・引き続き講義科目はオンライン授業になることが予想されるため、特に新入生はクラスメイトと接する機会が少ないことで孤独にならない様に精神的なケアが必要である。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門のキャリアカウンセラーの配置(昨年引き続き)の検討。 ・スクールカウンセラーとの相談を必要に応じ実施していく。教員の支援方法のアドバイスも含む。 ・学生部の導入。 ・課外活動に関する中長期的な模索をしていくことも必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点は二つ、学生の方達への新型コロナウイルス感染症予防とその上での就職支援となると考えます。特に学業内容からも大変な取り組みになると思いますが、逆にここから新しい基準も生み出されるのではないのでしょうか。 ・学生支援でハローワークの教育訓練給付金を利用されていることはいいと思います。また、スクールカウンセラーを導入されており、安心して学生生活を送ることができる政策がとても良いと思います。 オンライン授業では個人での勉強になるため、今までの先生方や同級生との関わりが薄くなるため、個別の対応を重視すると良いと思います。 学業についていけないなどの問題がリモートになると分かりづらいため学生とのコミュニケーション支援もさらに必要になると思います。 ・コロナ禍で多方面での支援を利用できるように学生や家庭への周知が大切だと思います。 ・カウンセラーや寺子屋等の存在が生徒さんの助けになるものと思います。
	② 学生相談に関する体制は整備されているか	3		
	③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4		
	④ 学生への生活環境への支援は行われているか	4		
	⑤ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4		
	⑥ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3		
	⑦ 保護者と適切に連携しているか	4		
	⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3		
	⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3		

(6) 教育環境	①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	【成果と課題】 ・コロナ対策の設備、備品等予算外であったが、整備することができた。また、オンライン授業の対策としてカメラを導入し対面と同等となるような教育環境を整えることができた。	・前述の学生支援とも関連しますが実習の重要性もさることながらオンラインの整備も同等になると思います。健康管理体制も含めてICTの活用の一層の充実が求められるでしょう。
	②	学内外での実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制を整備しているか	3	・学生からの要望の強かったwi-fiルーターをカフェ棟に設置し要望に答えることができた。	・オンライン授業の対策としてカメラを導入し対面と同等の教育環境を整えられた対策は素晴らしいと思います。Wi-Fi環境の整備も強化され、情報の共有やデータのやりとりにも役立つことと思います。
	③	防災に対する体制は整備されているか	4	・都内で学生が通える場所に法人が実習施設としてのクリニックを開設することが望まれる。 ・実習室のユニットが故障しやすい。	教育実習の面で都内にも実習施設があると大学への距離の問題が解消されて時間効率が良くなると思います。
				・今年度は、コロナ禍の中でカフェの昼食提供はできなかったが、今後学生が利用しやすい昼食の利用方法を模索する必要がある。 【今後の改善方策】 ・ユニットの交換、3階学生トイレの改修工事。 ・引き続き新しい機器の導入をし、学生が現場に出たときに抵抗なく扱えるようにする。 ・海外研修については、法人の短大で実施しているので、感染症の収束後、本学生にも同体制がとれるか検討が望まれる。	・カフェのお弁当は「脂っこい」と思っていたので、もっと気軽に食べれるおにぎりやサラダを加えた方が良いと思う。

(7) 学生 の 受 入 れ 募 集	①	学生募集活動は、適切に行われているか	4	【成果と課題】 ・3年連続での定員充足ができています。 ・コロナ禍においてオンラインでの募集活動も広め効果を得た。 ・若者(高校生)をターゲットとしたSMS戦略を取り入れ、好評を得ている。 ・本校の教育方針を伝えるガイダンスにできるだけ多く参加できた。コロナ禍の中であったが、高校との接触を強化できた。 ・適切な入試による定員充足。 ・更に歯科衛生士の良さを伝え、意欲のある学生の入学に繋げる。 【今後の改善方策】 ・2022年度入試で、AOエントリーを6月より開始する。 ・AO入試で適性検査を実施し、適性をみて入学させる。 ・HPの改修を来年度実施予定であり、スマートフォンでも見やすくし、認知度を高める。 ・SNSを駆使した戦略を強化していく。	・継続して定員を充足させられているのは素晴らしいことです。教育活動の充実、募集広報活動が確立されていればこそだと思います。 ・定員を割ることなく充足できているため、今後も同じような政策を取られると良いと思います。優秀な高校との連携が取れることで優秀な人材を確保できるようにしたいと思います。 ・オンラインでの募集活動はコロナ禍の時代に沿って良いと思う。
	②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4		
	③	学納金は妥当なものとなっているか	4		
(8) 財 務	①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	【成果と課題】 ・本年度も経常収支は黒字決算の予定。 ・3年連続しての入学定員充足と退学者防止対策により、2021年度は在籍数230名超えの予定で、経常収支の黒字も更に増額し、ユニット交換の計画に着手できる予定。 【今後の改善方策】 ・入学者定員充足を今後も継続し、退学防止に努め230名以上の在籍を保つことができれば財政基盤は更に安定する。	・黒字決算ということで安定した活動の成果と言えるでしょう。退学者については予測不可能なこともあり悩ましい問題です。 ・経常収支が黒字決算を予定されているとのこと健全経営をされていると思います。ユニットなどの実習の強化に黒字の部分当てるとの案がとても良いと思います。職員への評価システムなども見直して黒字化の時に賞与などを当てると優秀な人材の確保につながると思います。 ・引き続き財務の安定に取り組まれますよう期待しております。
	②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4		
	③	財務について会計監査が適正におこなわれているか	4		

(9) 法令等の遵守	① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	【成果と課題】 ・学校自己評価及び学校関係者評価報告書を今年度も継続公開した。	<p>・最終的に学校評価はこの部分に対してくださるものだと思います。自己評価におかれましても適切と判断されているのは何よりだと思います。</p> <p>・法令を遵守し、個人情報を守り、自己評価を適正に実践されているとの評価で問題ないと思います。</p> <p>・引き続き法令遵守に取り組まれますよう心から期待しております。そうした学校の姿勢が如実に卒業生に現れ、DHと患者の関係ではございますが、すがすがしい卒業生と会話している機会を保っております。</p>
	② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	<p>・専修学校や養成所ガイドラインを遵守した運営を継続している。</p> <p>・顔写真など個人情報の扱いについて。</p>	
	③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	【今後の改善方策】 ・広報等でSNS上に載せる必要などあるため、入学時に承諾書を交わしておく。	
	④ 自己評価結果を公開しているか	4	・学則や校内ルールが時代の流れやニーズに適合しているかどうかの検証、必要に応じた検討。	
(10) 社会貢献・地域貢献	① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	【成果と課題】 ・コロナ禍で、例年実施していることを行うことができなかった。 ・今年度予定していた外部の歯科関係者団体への学校施設の貸し出しも実施できなかった。社会貢献にも取り組む予定であったが残念である。	<p>・ボランティア等も大切な活動かとは思いますが、まずは有能で意欲のある社会人を送り出すこそ社会貢献となるのではないのでしょうか。このコロナ禍の中、優先順位を設けられればよろしいと考えます。</p> <p>・コロナ禍での人流を防止されていたため、学生同士の接触がないことを重視している年だったためボランティア活動が出来ないことは仕方のないことだと思います。</p> <p>学生のボランティアなど、過去の先輩たちの実践することの大切さをオンライン授業などで伝えることでも社会貢献の精神は伝わると思います。</p> <p>学生時代に体験できることは素晴らしいですが、精神を繋げていくことが大切だと思います。</p> <p>・今後の桜まつり等々地域とのつながりが楽しみです</p>
	② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	<p>・各学会の学生ボランティア活動の周知を拡げる。</p> <p>・外部団体に対する社会貢献の強化。(コロナ収束後)</p>	
	③ 地域に対する公開講座等の受託を積極的に実施しているか	3	【今後の改善方策】 ・コロナ収束後、もっと地域にアピールするためにキッズイベント、さくら祭りを再開していく。	
			・各学会の学生ボランティア活動の周知をさらに強めていく。	